

「空知・旭川合同」決勝へ

高校ラグビー北大大会 中標津に14―12

【芦別】21日に芦別市なまこ山総合運動公園で行われた、ラグビーの全道高校北選手権大会準決勝で、芦別・羽幌・富良野の合同チームは中標津を14―12で破り、決勝に駒を進めた。芦別勢の南・北選手権での決勝は、2006年度の単独チームでの進出以来18年ぶり。

芦別高主将 「仲間信じた」

合同チームは、前半は一進一退の攻防が続き、合同チームが7―5のリードで折り返し。後半は一時逆転を許したが、試合終了直前にトライで同点に追いつき、逆転のコンバージョンキックも決め、大接戦を制した。選手たちは互いに抱き合い、応援してくれた家族や友人と握手して喜びを爆発させた。

昨年度の同大会では、富良野・旭川東と合同チームを組んで出場した芦別は1回戦で中標津に24

―36で敗退したが、雪辱を果たした。芦別高ラグビー部の小野晴也主将は「仲間を信じて最後まであきらめなかったことが勝利につながった。みんなで花園にいきたい」と笑顔で話した。芦別高ラグビー部コーチの小山雄也さん(34)は「ペナルティーを多くとられたが、気持ちが途切

れなかった。こんな試合見たことがない」。芦別高ラグビーOBの岡田慎也さん(49)は「いい試合

だった。決勝では楽しんでほしい」とエールを送った。

小野主将の父、嘉晴さん(50)は「ひやひやした展開だったが、まさかの逆転。最高の試合だった」と興奮気味に話した。決勝は28日に札幌月寒ラグビー場で、昨年度の覇者遠軽と対戦する。

(矢野透)

